

第6回 (仮称) 市民図書館のあり方検討委員会【議事録】

平成24年10月15日(月) 14:30～16:30

明石市分庁舎5階 教育委員会室

- 出席委員 : 廣岡会長、宮本委員、八木委員、高濱委員、大西委員、斎藤委員、志磨委員、
河井委員、酒井委員、大丸委員
- 欠席委員 : 小寺副会長、菊川委員
- 明石市 : (教育委員会事務局) 鈴見次長、阿部課長、合田係長、熊谷主任、
河野事務職員
(事務局: 青少年教育課)
- 事務局支援 : (三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社) 2名
- 傍聴者 : 10名

- 資料 : 次第
- 資料1 (仮称) 市民図書館に関するアンケート調査
 - 資料2 資料収集のあり方について(案)
 - 資料3 管理運営のあり方について(案)
 - 資料4 イベント等のソフト事業のあり方(案)
 - 資料5 他施設・他機関との連携のあり方(案)
 - 資料6 (仮称) 市民図書館整備基本計画素案骨子(案)
 - 資料7 今後のスケジュール

【議事・次第】

1. 開会
 2. 議事
 - (1) アンケート結果の追加分析について
 - (2) 資料収集のあり方について
 - (3) 管理運営のあり方について
 - (4) イベント等のソフト事業のあり方について
 - (5) 他施設・他機関との連携のあり方について
 - (6) (仮称) 市民図書館整備基本計画素案骨子について
 - (7) その他
 3. 閉会
-

1. 開会

事務局

前回までの検討委員会にて、検討いただいた内容について、教育委員会と議会にて報告を行い、以下の意見・要望があったことを報告。

- ・ 議会において、みなくるの存続についての要望と、存続について利用者の意見を聞いてほしいとの要望があった。
- ・ 同じく議会において、駅前に図書館を移設するより、現図書館の改修と西明石や大久保に分館をつくる方が市民の役に立つのではないかとの意見があった。

2. 議事

(1) アンケート結果の追加分析について

事務局

【資料1】に基づき、(仮称)市民図書館に関するアンケート調査の追加分析結果について説明。

会長

- ・ 説明いただいた内容についてご意見をいただきたい。

委員各位

- ・ 特にご意見なし。

(2) 資料収集のあり方について

事務局

【資料2】に基づき、資料収集のあり方について説明。

会長

- ・ 前回の協議を基に資料収集のあり方について修正いただいている。特に電子書籍の部分の修正については、今後の大きな流れへの準備ということだと思う。
- ・ 電子化や郷土資料等、説明いただいた内容についてご意見をいただきたい。

委員各位

- ・ 特にご意見なし。

(3) 管理運営のありかたについて

事務局

【資料3】に基づき、管理運営のあり方について説明。

会長

- ・ 説明いただいた内容についてご意見いただきたい。

委員

- ・ P1ア(ウ)「迅速かつ高品質のサービス提供が可能な体制の整備」について、アンケ

ート調査の結果では、「職員に聞きにくい」とのご意見が多数見られた。これらの意見に対応するものが盛り込めないか。

- ・ 例えば、市民との情報交流ができる職員を配置するような内容も盛り込めれば良いと思う。市民の方と情報交流することで、地域の情報収集等も可能となり、図書館側にも得るものがあると思う。

会長

- ・ 病院では、カウンター等に色々なご意見・質問を聞く方を配置しているところもある。
- ・ 図書館でも、そこに行けばどんなことでも聞くことができ、対応していただける「図書コンシェルジュ」のような内容が盛り込めればと思う。

事務局

- ・ 市民と情報交流することで図書館側にも得るものがあるのご意見があったが、例えば、レファレンスを受けることで対応した職員のスキルが向上するという意味なのか。

委員

- ・ スキルの向上に加えて、市民の方から、図書館だけでは集めきれない地域の情報等を直接聞くようなことをイメージしている。それを基にして、図書館から情報を発信することができるのではないかと思う。
- ・ また、「職員に聞きにくい」という意見から、職員に余裕が必要だと思う。利用者側から見ると図書館職員が常に忙しそうであるため聞きにくいということだと思う。利用者にもそのような認識を持たせない工夫が必要だと思う。

会長

- ・ 職員だけの実施ではなく、ボランティアの方に協力いただくことも考えられる。その場合、職員とともにボランティアの方にも接遇の研修等が必要かもしれない。

委員

- ・ コンシェルジュサービスは非常に良いことだと思う。ただ、中間報告のP12によると、図書館が提供するサービスについて認知していない方が多いように思う。
- ・ 広報活動の充実化が必要であるとの指摘もあり、図書館でどのようなことが出来るのか具体的な広報活動が必要なのではないかと思う。

会長

- ・ P1ア(ウ)「迅速かつ高品質のサービス提供が可能な体制の整備」にコンシェルジュの様な内容の検討をお願いしたい。
- ・ P3オ「情報発信」を「広報活動・情報発信」とし、その中に広報活動の充実に関する内容を盛り込めればと思う。

委員

- ・ P2ウ「子どもへのサービスの充実」にも同様の内容を盛り込んでいただき、子ども

も気軽に話しかけられるような体制づくりができればと思う。

会長

- ・ P2ウ(イ)「図書への興味や、読書習慣を身につける雰囲気づくり」の2つ目について、「落ち着いた環境の中で自ら読書できることはもちろん、図書館職員が保護者や友だちなどとともに、図書に親しむ雰囲気づくりを行う。」とし、職員にもかかわってもらうニュアンスを出してもらえればと思う。

委員

- ・ ここでは書き込む必要はないと思うが、具体的な例として、何でも相談出来る職員にワッペンを付けてもらう等の取り組みを行えば良いのではないかと。

会長

- ・ 具体的な姿として今ご意見いただいた内容等を念頭に置き記載いただきたい。

(4) イベント等のソフト事業のあり方について

事務局

【資料4】に基づき他都市の図書館におけるイベント、及び、明石市立図書館で昨年度実施したイベントの内容等について説明。

会長

- ・ 基本的な方針や考え方について説明をいただいた。施設・設備であるハードをどのように使うか、ソフトの検討が必要となる。図書館や博物館、そして美術館について今はソフトの時代だと思う。
- ・ 図書館にたくさんの人を集めるためのイベントを実施することは意義があると思う。「再開発ビル全館図書館プラン」や「本のまち明石プロジェクト」等の大きなコンセプトから、再開発ビル内の連携、そして本を通じたソフト事業のアイデアをお聞かせいただきたい。

委員

- ・ イベントの一覧について、みなくるでは年間50回程度のテーマ展示を行っており、その内容を資料に追加していただければと思う。

会長

- ・ みなくるのテーマ展示に関する記述を【資料4】に追加していただきたい。

委員

- ・ 伊丹市立図書館では、市民と図書館職員等、様々な立場の人が集まり図書館についての意見交換を行っている。大変良い事例だと思う。図書館のことを考える機会を定期的に設けることができればよいと思う。

会長

- ・ 図書館と市民の交流機会を設けることはよいことだと思う。また、交流機会の場について、ネーミングをつける等することで、イメージが膨らんでいけばよいと思う。

委員

- ・ 「再開発ビル全館図書館プラン」や「本のまち明石プロジェクト」についておおまかな説明はなされているが、どのように進めるのかイメージが分かりにくい。

事務局

- ・ 「再開発ビル全館図書館プラン」や「本のまち明石プロジェクト」については、本検討委員会においてご意見をいただき、膨らませていけたらと思う。また、今年だけで終わるものではなく、開館までは時間もあるので都度検討し、膨らませていければと思う。
- ・ 再開発ビル内には公共施設や、書店等の様々な商業施設も入ることになっているが、図書館を核とし、本を通じて、ビル全体の文化度を高めていければと考えている。
- ・ 例えば、図書館の関連コーナーを統一色で各階に配置にすることや、他の階に検索機を設置する等のご意見もいただいている。飲食店に関しては、民間の施設になるので、現時点では、こうあってほしいという思いであるが、展示コーナーの中にお店のオーナーが勧める本を置くなど、ビル内で様々な連携が出来ればと思う。
- ・ イベント広場についても本に誘う、図書館に誘うようなイベントができたらという思いである。
- ・ 現在、明石市では第2次子どもの読書推進計画を推進しているが、「本のまち明石プロジェクト」においては、その中に位置づけられているものを基本に考えている。図書館を中心に家庭や地域、学校とネットワークを構築し、誰もが本に親しみやすい環境を整え、本を通じて全市的に文化を醸成していきたいとの思いがある。今現在も、子ども夢文庫や子育て支援センター等、広がりを見せている。学校についても今はできていないが、統一のシステムを介して連携を強化していければと思っている。
- ・ 本のまち明石が進展し、市民一人ひとりが本に親しむことができる「まち」にできたらという思いである。図書館を起点とする様々なアイデアをいただければと思う。

会長

- ・ 実現できる、できないは別として様々なアイデアを出していただければと思う。
- ・ まちづくりと読書活動を結びつける等、文化的な活動を通じた絆づくりが大きな動きになっていると感じている。
- ・ 全国に発信することのできる明石をイメージさせるソフト事業のアイデアをいただきたい。
- ・ 例えば、再開発ビル全館図書館プランについては、再開発ビル内の商業店舗について、店主がおすすめする本の展示や、ショーウィンドーに季節に関する本を設置してもら

う等考えられる。

委員

- ・ 外から見ても建物自体が本をイメージできるようなデザインであれば良いと思う。伊丹市立図書館は、城下町である地域性を生かして蔵をイメージした図書館を作っている。
- ・ 県立図書館の講演会や研修会について、ボランティアが一步踏み込みたいと思えるようなものが充実している。
- ・ 市立図書館では、子ども向けのおはなし会等を開催しているが回数が少なく、参加する機会を見逃している状況である。時間は短くてもよいので、毎日でもおはなし会を開催すれば良いのではないか。また、大人や高齢者に対応したイベント等ももっと必要なのではないか。

会長

- ・ 建物については、可能であれば、本、読書をイメージするような外観で、直ぐに図書館とわかる、行ってみたくなるようなものがよいという提案だと思う。
- ・ また、イベントの回数についても、回数が少なければなかなか興味を持ってもらうのは難しいとのご意見だと思う。

委員

- ・ 明石でおはなし会を開催しているが、図書館が駅前になれば、もう少し親子も来やすくなると思う。
- ・ ただし、子どもについては、保護者同伴でないと安全上不安がある。われわれが小学校等を訪問し、定期的におはなし会を開催することが現実的かもしれない。明石の保育所については、声がかかればほとんど伺っている。
- ・ 以前、大人向けのおはなし会を実施したことがある。大人用のストーリーテリングを聞く会を開催し、そこに参加されたお母さんが、何人か勉強会に入って、子どもが大きくなったところに語り部になり、明石の図書館で活動をされている。
- ・ また、おはなし会等を充実させていくためには広報活動の充実も重要だと思う。

会長

- ・ 大人向け、子ども向けの催しについて、バランスも重要になってくると思う。大人向けの会、子ども向けの会を同時に実施すれば、親子で来て、親子で帰ることに繋がり、安全安心だと思う。
- ・ 遅い時間に、サラリーマン向け講演会の実施する等、対象別の活動を工夫する必要があると思う。
- ・ また、定期化することも重要な要素だと思う。

委員

- ・ 大人向けの読み聞かせを医師がボランティアでやっているような事例も聞いている。

大人が参加できる時間帯に、大人向けのイベントがあればと思う。

- ・ 明石らしさがイメージされるイベントがあればよいと思う。例えば源氏物語の「明石の巻」に関連する内容は明石独自のものといえる。関連する会を定期的を実施することを考えてもよいと思う。瀬戸内寂聴さんに来ていただけるか分からないが、世界的に見ても古い文学作品である源氏物語を前面に押し出すことで、イベントとして、継続性、深まりがあるのではないかな。
- ・ 再開発ビル内に講演会を開催出来るような場所はあるのか。全館でのイベントを考えるのであれば、他のフロアのレイアウトや内容等についても把握しておく必要があるのではないかなと思う。

会長

- ・ イベントについては図書館の研修室でできるものと、図書館以外の施設で実施するものの区分けが必要になってくると思う。

事務局

- ・ 再開発ビルの4階～6階には数百名が集まれるホールはない。ただし、100名程度が集まる会議室等の設置は想定される。
- ・ 例えば、絵本に出てくる料理等を実際に調理するための調理室は、こども健やかひろば内にあると聞いている。ただし、現時点では施設全体の詳細が定まっていないので、幅広くアイデアをいただければと思う。
- ・ また、イベント広場が別途あるので、場合によってはそちらを活用できればと思う。

委員

- ・ 伊丹市立図書館を見学させてもらったが、地元の高校生がお薦めする本を置ける棚がある。中高生にもっと図書館に立ち寄って欲しいという思いがある。明石にもそのようなスペースを確保すれば、子ども達が足を運ぶことの一助になるのではないかな。

委員

- ・ 「本のまち明石プロジェクト」が掲げられているが、明石の図書館は、地域に出かけるということが弱いと思う。移動図書館やこども夢文庫等の取り組みも行われているが、地域の方を本に向かせる為には、取組を広める必要があるのではないかな。
- ・ 学校との連携も弱いように思う。幼稚園から高等学校までであるが、ブックママ、ブックパパ等のボランティアをもっと広める必要を感じる。
- ・ また、小・中学校の図書館について、夏休みに地域の方への開放する取組みがあってもよい。
- ・ 新しい図書館に市民が来てくれることも重要だが、図書館が出かけて行く2段構えの取組みが必要だと思う。地域との繋がりも生まれ、図書館に行きにくい地域の要望にもこたえていける。

委員

- ・読み聞かせ等のボランティアで他の学校に行くこともあるが、知り合いから声が掛かれば行くような状況となっている。
- ・図書館が総括してボランティアの登録を行い、登録されているボランティアに声を掛けていく、コーディネートしていく仕掛けがあれば良いのではないかと。

会長

- ・図書館機能についての部分と、ソフト事業が重なってきているように思う。
- ・時間もないので、ソフト事業のアイデアについては次回までの宿題としたい。ネーミングと合わせて次回の検討委員会でご意見をいただければと思う。
- ・例えば、地域の方を講師とした「明石文学散歩」や、郷土史や地域産業等に関する「明石学講座」等をお願いしたいと思っている。その内容がテキスト化され、定例的に講座化されればと思う。古典であれば先ほどご意見いただいた源氏物語等も盛り込めればと思う。

委員

- ・以前からお話が出ている4階・6階のフロア設定については現状決まっているのか。

会長

- ・最終段階での取り決めになると思う。われわれの要望だけでは決められない。4階・6階双方のイメージを持ちながら議論を進めていくことになると思う。

委員

- ・本日、紹介いただいたイベント等を適用する際のメリット・デメリットを教えてください。個人情報の点でデメリットがある事例もあるように聞いている。そうした情報も教えてください。

会長

- ・本日、紹介いただいた事例に関するメリット・デメリットについて、各図書館がそれぞれ、様々な課題を抱えながらメリットの優位性を判断して実施しているのだからと思うが、事務局の意見を伺いたい。

事務局

- ・各事例のメリット・デメリットを次回提示するのは現実的には難しい。ネーミングも含め様々なアイデアをお出しいただければと思う。
- ・予算等様々な要因も関連し、いただいたアイデアについて、実現できるかどうかはすぐに判断できないが、次年度以降具体化していく中でメリット・デメリット等を含め検討を進めていくことになる。
- ・また今後イベントを考えるにあたって、行政だけではなく、ボランティア等、市民の方と一緒に考えていく場も必要になってくると思う。

会長

- ・ 次回の検討委員会でアイデア、ネーミングをご紹介いただければと思う。

(5) 他施設・他機関との連携のあり方について

事務局

【資料5】に基づき他施設・他機関との連携のあり方について説明。

会長

- ・ 説明いただいた内容についてご意見いただきたい。

委員

- ・ 他施設・他機関との連携とイベントのあり方は密接な関係にあると思う。この内容についてもソフト事業と同様に宿題にしていただき、併せて検討した方がよいのではないか。

会長

- ・ イベントは連携先と密接な関係にあるとのご意見をいただいた。こちらについても次回までの宿題とさせていただきます。
- ・ イベント同様にメリット・デメリットや実施可否を検討した上で最終的に判断することになる。その点をご了承いただき、次回にアイデアを出していただければと思う。

(6) (仮称) 市民図書館整備基本計画素案骨子について

事務局

【資料6】に基づき(仮称)市民図書館整備基本計画素案骨子の内容について説明。

会長

- ・ 概ね、中間報告と同じ構成になっていると思う。今まで議論いただいた内容、それに基づく文言修正を行い最終的に仕上げていくことになると思う。
- ・ 説明いただいた内容についてご意見いただきたい。

委員各位

- ・ 特にご意見なし。

事務局

- ・ 先ほどの宿題についてご提案させていただきたい。検討いただいた内容について事前に事務局へ送付いただき、次回の検討委員会でまとめたものを提示したいと思う。
- ・ 次回の委員会は11月12日(月)を予定している。10月26日(金)までにアイデアがある方はFAX等でお送りいただければと思う。

会長

- ・ お名前とイベント名称、その概要についてご記入いただき事務局に送っていただければと思う。

事務局

- ・ 26 日までにいただいていない意見を次回の検討委員会当日にご提案いただいても構わない。ご意見がある方はどんどん出していただければと思う。

(7) その他

事務局

【資料7】に基づき今後のスケジュールを説明。

委員各位

- ・ 特にご意見なし。

3. 閉会

事務局

- ・ 次回の検討委員会は 11 月 12 日（月）14：30～ 場所は本庁舎 8 階 804 会議室にて開催させていただく。

会長

- ・ 以上で第 6 回委員会を終了する。ありがとうございました。

以上